

新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況下で、

当連盟として選手、役員並びに大会に参加するすべての方々の安全と健康を第一と考え、全日本軟式野球連盟及び東京都軟式野球連盟の感染予防対策ガイドラインに沿うとともに今年度も以下対策を行うこととします。

★各チーム選手・監督コーチ、スコアラー、給水担当

1. 自宅を出る際に検温を行い風邪症状の有無、だるさ・息苦しさの有無、味覚症状を確認する。
※大会本部に健康チェックシート提出(試合ごとに)
1. で症状がある場合および以下の場合の選手・コーチ(体温 37.5 度以上等)は出場を取りやめる。
・同居家族や親近に新型コロナウイルス感染が疑われる人がいる
2. 試合会場に着くまでおよび会場内(試合開始前待機中など)はマスクの着用を義務付ける。
3. 一人との距離をある程度確保し、ベンチ内でも距離を保つようにする。
4. 試合前、試合中、試合後は、円陣・声出し・応援を行わない。
5. 試合開始 15 分前に集合し、待機中のミーティング、更衣、食事を禁止する。試合終了後は、速やかにグラウンド外に出て帰る準備をする。
6. 試合登録選手のマスク着用は任意とする。監督およびベンチ内のスタッフも同様に任意とする。
7. ハイタッチ、グータッチなどの肌が触れ合う行為は控える。
8. バットは、1 順を目途に消毒をする。バッティング手袋を使用しないときは使用前に消毒する。
9. ベンチ外の応援は密集・密接にならないよう、大声の応援も極力行わない。
10. チーム共用のジャグの使用を禁止する。
11. 試合中の審判へのお茶出しは行わない。
12. チーム内の選手、コーチ、(ベンチ入りの者)に陽性者、濃厚接触者が出た場合は、対象者の出場有無、大会出場について練馬区のガイドラインに沿って保護者を含むチーム判断とします。
チーム代表者は、連盟に第一報を報告する。
※ 練馬区ホームページ【検査で陽性になった方・濃厚接種者になった方へ-感染症-練馬区】で確認できます。

★大会運営側の対応

1. チームから提出された『大会参加者 健康チェックシート』の確認を行う。また、試合チームから『来場者 健康チェックシート』受け取り確認を行う。
2. 大会運営者、審判員は本部席にある健康チェックシートへの記入を行う。
3. 試合会場には、消毒液を常備する。(連盟準備)
4. 試合間のインターバルを通常より長く設ける。
5. 大会運営は、慣例・慣習にとらわれずに試合に影響がない事項では密集を避ける。
6. 感染者発生を受けた場合、大会本部に報告し、二次感染防止を徹底する。
7. 試合後2週間以内に万が一感染症を発症した場合、連盟に濃厚接触者の有無等を報告する。
8. 審判クルー、記録員、控え審判はマスクを着用する。
9. 先行、後攻を決める際、選手同士の握手は極力行わないようにする。
10. 試合開始、終了の整列、挨拶については、ベンチ前で行う。
また、終了後の他チームへのエール交換は行わせないようにし速やかにグラウンド外に出るよう誘導する。
11. 施設内における唾、痰を吐く行為を厳禁とする。